

《男女共同参画センター登録団体・様々な立場の市民の方との意見交換会》

- 1 実施日
令和4年6月10日（金）
- 2 出席者
12団体12名
- 3 主な意見（日頃感じていることや男女共同参画に関する課題等）

【基本目標Ⅰ】 男女共同参画の実現や多様性を尊重する意識の醸成	
ご意見等	関連部分
① 男女共同参画の視点を育むために、幼児・小学校の時から の正しい性教育を行うことが必要だ。	I－1－①
② 文部科学省や教育委員会とも連携して、子どもの頃から男 女平等・性の多様性など人間的な平等意識の醸成を図ってほ しい。	I－1－①
③ 性別役割分担に対しては、意識の改善が大事だ。保育園や 小学生の時から教育が必要で、お互いに議論し合う場や物 事を分析する能力を養うことが必要だ。	I－1－①
④ 時間がかかっても家庭教育・子どもの教育が非常に大事だ と思うので、教育委員会とも連携して進めてほしい。	I－1－①
⑤ 学校教育の中での人権尊重教育が必要であり、大人に対し ても継続的に啓蒙活動を続けていくことが必要だ。	I－1－①

【基本目標Ⅱ】 あらゆる分野で男女共同参画の視点を反映させるための環境づくり	
ご意見等	関連部分
① 男女共同参画に向けて社会も変わってきていると感じる が、何か盛り上げられるような目玉となるものがあればいい。	Ⅱ
② マスコミが有名人の家庭参画を広く取り上げるようになって 、男性側の意識も少しずつ変わってきていると感じる。	Ⅱ－2－①
③ きめ細かい保育を行うためには、施設整備のみならず、保 育人材の確保と養成も大きな課題となっているので、基本目 標などに組み込んでもらいたい。	Ⅱ－2－②
④ 防災備蓄品の生理用ナプキンの種類（夜用昼用など）につ いては、女性側の観点も大事にしたうえで検討してほしい。	Ⅱ－4－②

【基本目標Ⅲ】 誰もが尊厳と誇りを持って安心して生きられる社会の実現	
ご意見等	関連部分
① 女性に対する支援は縦割りであり、若年女性やマイノリティの女性、全ての女性の困難を包括的に解決できるような政策・施設の構想を立ててもらいたい。	Ⅲ－１
② 女性に対する暴力の根絶という視点は重要だが、そこだけを打ち出して良いのか。男性やトランスジェンダーの方など、こぼれてしまう人がいないように目配りができると良い。	Ⅲ－１
③ DVについては、世界的にも「ジェンダーに基づく暴力」(Gender-Based Violence) という捉え方で進んでおり、そうした視点で札幌市も取り組めば、先進的になる。	Ⅲ－１
④ DVや子どもに対する暴力に対しては、保育園等の役割も大きいと感じているが、現場でどう対応したらいいかわからないという声もある。	Ⅲ－１
⑤ 日本人のパートナーを持つ外国人も増えているため、DV窓口なども多言語化されれば、自由に相談に行きやすくなる。	Ⅲ－１
⑥ デートDVのワークショップを行ったところ男性と女性でDVの意識について差が大きかった。女性側も声を出して「嫌だ」と言う力を付けること、男性側が理解することが重要だ。	Ⅲ－１－①・④
⑦ 多様な性のあり方という点からは、学校現場で性的マイノリティの方に配慮したトイレの設置など、設備の充実も大事だ。	Ⅲ－２
⑧ 生理の貧困が話題になり、生理用品が置かれる施設も出てきているが、札幌市として教育現場や施設への設置を行ってほしい。	Ⅲ－３
⑨ 行政の相談窓口においては、他の公的な施設との調整も図った上で、民間のシェルター等につないでほしい。	Ⅲ－３
⑩ アイヌ民族がいて、その中で更に様々な困難を抱えているアイヌ女性がいることを行政がしっかり取り上げて可視化することが、理解を進める上で非常に重要だ。	Ⅲ－３－③